

講義名	日本経済論				授業形態	
担当教員	上瀬 真生		開講期・曜日・時限		前期 火曜日 5 時限	
			単位数	2	履修開始年次	2 年生
主題と概要						
現在、日本経済は転換点に立っている。グローバルな経済発展が曲がり角に立つなかで、日本経済がどのように歩むべきかが問われている。この講義では、前半で働く人々の状態という見地から日本経済の現状を考察し、後半で第二次世界大戦後、日本経済が歩んできた道程を考察する。これらをふまえて、今後の日本経済のあり方を受講生とともに考えたい。						
到達目標						
今日の働く人々の状態を日本経済の現状との関係で理解し、自分なりの考えをもつことができるようになる。 第二次世界大戦後の日本経済の歩みについて理解し、自分なりの考えをもつことができるようになる。 以上を踏まえて、今後の日本経済のあり方について考えることができるようになる。						
提出課題						
毎回の講義でクイズを課す。 中間レポート試験を課す。 期末レポート試験を課す。 *これらは、キャンパスクロスをつうじて提出を求める。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
毎回のクイズについては、キャンパスクロスをつうじて採点結果を伝え、次の講義でコメントする。 中間レポート試験については、キャンパスクロスをつうじて採点結果を伝え、講義でコメントする。 期末レポート試験については、要望があれば個別にコメントを付して採点結果を伝える。						
評価の基準						
各回の講義で行うクイズ、中間レポート試験、および期末レポート試験の総合評価（単純合計）による。これらを通じて、三つの到達目標についての到達度を測る。 クイズ 30点満点（毎回 2点×15回） 中間レポート試験 40点満点 期末レポート試験 40点満点						
履修にあたっての注意・助言他						
できるだけ身近な問題と関連づけながら講義するつもりであるが、受講生も新聞や雑誌などの関連記事に目を通して、今日の日本経済をめぐる問題を知る努力をしてほしい。 以下のとおり、受講ルールを定める。 （１）授業開始後15分を経過した方は入室を認めない。 （２）座席については教員の指示に従う。 （３）私語厳禁。目にあまる場合は退室してもらう。 （４）携帯電話などの電源は切る（レジュメへの書き込みなどでPCやスマートフォンを使う場合は例外とするが、写真撮影は禁止する）。						
教科書						
教科書は使用しない。						
参考図書						
講義内で適宜紹介する。						

その他		
キャンパスクロスをつづいてレジュメ、資料を公開する。 公開は講義日の3日前を基本とする。 受講生は、これらをダウンロードし、印刷するなど、講義に向けて準備すること。		
授業計画		
01.はじめに / 現在の日本経済を考えるために 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
02.働く人々の状態からみた日本経済 ―雇用・失業をめぐる状況(1) 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
03.働く人々の状態からみた日本経済 ―雇用を・失業をめぐる状況(2) / 賃金をめぐる状況(1) 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
04.働く人々の状態からみた日本経済 ―賃金をめぐる状況(2) 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
05.働く人々の状態からみた日本経済 ―労働時間をめぐる状況 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
06.働く人々の状態からみた日本経済 ―男女の働き方のちがい(1) 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
07.働く人々の状態からみた日本経済 ―男女の働き方のちがい(2) ／日本経済の歩み ―戦後日本経済の歩みと私たちの人生 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
08.日本経済の歩み ―戦後復興 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
09.日本経済の歩み ―高度経済成長(1) 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
10.日本経済の歩み ―高度経済成長(2) 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
11.日本経済の歩み ―安定成長と貿易摩擦 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
12.日本経済の歩み ―バブルとバブル崩壊 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
13.日本経済の歩み ―グローバル化の中の日本経済(1) 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
14.日本経済の歩み ―グローバル化の中の日本経済(2) 予習：キャンパスクロスで公開するレジュメ、資料をダウンロードし、受講の準備をする（0.5時間） 復習と課題提出：講義を振り返り、クイズに取り組み、提出する（1.5時間）		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
日本経済論は、経済学部 学部専門基礎科目に配置されている経済学科・経済情報学科共通の6科目中の1科目である。到達目標 - を達成することによって、経済学部ディプロマ・ポリシーで言う「経済学の知識を幅広く修得」すること、「総合的考察...に秀でた人材」となることに寄与する。また、到達目標 を達成する過程で今日の働く人々の状態を示すデータを学び、「情報処理能力に秀でた人材」となることに寄与する。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
毎回のクイズについて、次の講義で必要なコメントを行う。 できる限り、受講生が意見を述べべる機会をつくる。		
実務経験の有無及び活用		
なし。		
備考		
キャンパスクロスや RYUKA Portal のメールなどをこまめにチェックすること。		